

個人質問

議会事務局 処理欄	令和6年 5月17日 8時55分 受付
	質問順位 第12番

武豊町議会議長 青木 信哉 殿

武豊町議会議員 石原 壽朗

一般質問の通告について

令和6年第2回武豊町議会定例会において、次のように質問したいから通告します。

質問事項	質問の要旨(具体的にご記入願います)
1. 若い世代に評価されるまちづくりを	<p><b>【趣旨説明】</b></p> <p>武豊町は臨海部を中心に産業都市として発展してきた。各企業、事業所が継続的な成長を目標に新たな設備投資などで、雇用拡大も目指している。企業にとって、賃金や福利厚生施策などの充実は、企業価値を引き上げるために必須となるが、町内事業所を働く場として選択する大きな要因のひとつに、武豊町で生活する上でのまちの魅力も重要である。</p> <p>若い世代向けの施策を積極的に展開する自治体が評価され、強いては人口減少社会のなかでも成長を続けられるまちづくりではないか、と考える。そこで若い世代に評価されるまちづくりについて、以下3点を質問する。</p> <p><b>【質問事項】</b></p> <p>① 武豊町は電車利用者が公共交通機関を乗り継いで町内を移動する手段が少なく、特に朝晩の通勤・通学者には公的な移動手段はないため、徒歩や自転車にならざるを得ない状況にある。</p> <p>町外から、特に若い世代に住みたい街としての評価をしてもらうためにも、公共交通機関の利便性を今後どのように向上させていくのか。</p> <p>② 私がこの地域へ転勤を予定している方から問い合わせを受ける案件の上位に、「乳幼児が入園できるか」「低学年の子どもが放課後児童クラブに入所できるか」というものがある。</p> <p>子育て支援課などの施策で待機園児や児童が解消されつつあるが、相談をされる当人にとって我が子はどうなるのか、という深刻な問題となる。</p> <p>女性の社会進出が当たり前の社会となった現在、これらの問題を今後どのように解決していくのか。</p> <p>③ 武豊中央公園の整備が完了し、幅広い世代の人々で賑わっている。町に多くの公園や緑があることは、この町がゆとりのある生活環境にあると評価できる。しかし、多くの人々が利用することで、球技やスケートボードなどで危ない思いをした、という声も聞かれるようになってきた。</p> <p>公園利用のルールを順守させる取り組みを更に進めるべきと考えるが見解はどうか。</p> <p>また、自治体の管理する公園遊具の整備は今後武豊町が主体となっていくこととなり、老朽化した遊具が放置されることがなくなると思われるが、整備計画はどの程度進んでいるのか。</p>